

H28年度 第1回嶺北地域アクションプランフォローアップ会議の概要

日時：8月31日（水）14:00～16:30

場所：土佐町保健福祉センター2階あじさいホール

1 議事等

（1）産業振興計画関連 年間スケジュールについて

- ・H28年度のスケジュールを説明

（2）地域アクションプランについて

1) 第2期嶺北地域アクションプランの取り組みの総括について

- ・第2期の取り組みの成果等について説明

2) 第3期嶺北地域アクションプランの進捗状況等について

- ・主な取り組みの上半期の進捗状況等について説明

3) 修正の案件について

- ・修正2件について説明

No.6 土佐あかうしの競争力確保による肉用牛産業の再興

No.7 土佐はちきん地鶏・大川黒牛を活用した畜産業の活性化

- ・案について了承された

（3）産業成長戦略について

1) 志国高知 幕末維新博について

- ・実施計画について説明

2) 移住促進の取り組みについて

- ・移住促進策の進捗状況等について説明

2 意見交換

<産業振興計画関連 年間スケジュールについて>

- ・特になし

<地域アクションプランについて>

（地域博覧会）

- ・（No.18 嶺北広域観光アウトドアの里づくり）嶺北地域はこれまで博覧会ができていない。アウトドアの里づくりをきっかけに嶺北アウトドア博のような4町村の特色を生かしたものができればよいのではないか。

→ 4町村が一体となったアウトドアメインの博覧会形式でやることについては大いに賛成。地方創生の交付金なども活用していければと思う。

（高知県広域食肉センター）

- ・（No.6 土佐あかうしの競争力の確保による肉用牛産業の再興）現在、広域食肉センターの廃止が検討されているが、嶺北の町村会からは何とか廃止を避けたいという意見書を提出している。

→ 県としても、畜産物の生産、そのための加工・流通といった面でも非常に重要な施設と考えている。関係市町村、関係者が一体となって、その運営・存続について可能性を探っていくことが重要と考えている。

(林業関連)

・(No.8 嶺北地域における林業クラスター化の取組) 自伐林家や小規模林業家が生産性や所得を上げられるような支援を行い、若い人がそういう場で活躍できるようこれからも積極的に取り組んでいただきたい。

→ 県内全体で組織化が図られており、そういった方々を対象とした県の補助制度もある。ぜひそういった組織にも参画していただき、補助事業等を活用しながら、林業経営に参加していただきたい。

(立川川の活用)

・(No.18 嶺北広域観光アウトドアの里づくり) アウトドアの里づくりに関連して、立川川は仁淀ブルーにも負けていないと思っている。サイクリングにも適していると思うので行政の方でも取り組んでいただきたい。

→ 幕末維新博の関係で、嶺北地域には地域会場はないが、龍馬に縁のある立川の番所を拠点とした周遊コースづくりを進めている。そういった中でサイクリングなども提案できればいいと思う。

(基石茶)

・(No.15 基石茶を中心とした加工品ビジネスの展開) 基石茶は平成26年に販売額が1億円を超えた。しかし、原料はあるが生産者がいないのではないかと。せつかく1億円まで伸ばした販売額を何とか維持できるようにしてほしい。

→ 生産体制の充実は重要と考えている。基石茶親衛隊という取り組みを新しく始めており、作業のお手伝いとして募集するが、将来的にはこちらに移住していただいて担い手となっていただければいいと思っている。

(民泊)

・(No.17 嶺北地域の連携による交流人口の拡大) アウトドアの里づくりや博覧会開催時に宿泊が伴うか伴わないかによって、その地域に対する愛着やその先の伸びが全然違ってくるので、教育旅行以外のいろんな民泊に幅を広げ、ホテルや宿以外のところでも宿泊客を受け入れることができるよう、先手を打って検討を進めておくことに価値があるのではないかと。

→ 一部で民業圧迫という声もあるので慎重に進めなければいけないが、少しでもパイをまずは増やして人を呼び込むことも必要だと思う。

<産業成長戦略について>

(移住促進)

・移住してきた人の数の報告はあったが、出て行った人の数というのは把握しているか。

→ H25年に移住された方に対して、2年後の定着状況を調査している。手元に数字は持ち合わせていないが、概ねの方は定着されている。

■お問い合わせ先

高知県産業振興推進部計画推進課(地域産業担当)

電話 088-823-9334

FAX 088-823-9255

メール 120801@ken.pref.kochi.lg.jp